令和３年度　一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　１０５
千葉県立大原高等学校　全日制の課程　総合学科

１　期待する生徒像

次のいずれかに該当する生徒

ア　本校の総合学科で習得する知識や技能を生かし、将来地域社会に貢献しようとする意志のある生徒。

イ　基本的生活習慣、学習成績ともに良好であり、進路実現に向けて授業に積極的に取り組むことができる生徒。

ウ　中学校において特別活動や部活動に積極的に取り組み、入学後もそれらの活動に参加する意志のある生徒。

２　選抜資料

(1) 学力検査	５教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者１名・評価者３名の個人面接　検査時間：１人１０分

３　評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔５００点満点〕

評価項目	評価基準
ア　５教科の得点合計	５教科（各教科１００点満点）の合計５００点満点で評価する。
イ　個々の教科の得点	０点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔１６０点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限２５点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にＫ＝１を乗じた数値で評価する。 評定１または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	３年間において欠席が３０日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が１つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録、及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔４５点満点〕

３名の評価者が、次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、ａ（優れている）・ｂ（標準的である）・ｃ（やや問題がある）の３段階で評価する。

ａを５点、ｂを４点、ｃを１点とし、３名の評価者の評価（各１５点満点）を合計し、得点化する。評価ｃが１つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機が明確である。また、高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ 服装・態度	服装・態度や礼儀が良好である。
ウ 質疑・応答	質問に対して、適切な対応ができる。また、中学校での活動や自己の長所等を述べることができる。

4　選抜方法

(1) 選抜の方法

ア　「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

(ｱ) 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の８０パーセント
(ｲ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の８０パーセント

＜**ア**：総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（Ｋ＝１）	加点	面接	
５００点	１３５点	２５点	４５点	７０５点

イ　上記**ア**で決まらなかった者については、「学力検査の得点」に、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」に本校の定める係数（k1＝２、k2=２、k3＝２）を乗じて算出した得点を加えた「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜**イ**：総得点の満点の内訳＞

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1、k1=2）	加点（k2=2）	面接（k3=2）	
５００点	２７０点	５０点	９０点	９１０点

※　k1：**ア**の「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にＫを乗じた数値」に乗じる係数
※　k2：**ア**の「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数
※　k3：**ア**の「学校設定検査の得点」に乗じる係数

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。